

寄附金募集計画書

1. 寄附金の名称

バイオリソース高度化プロジェクト
～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

2. 募集対象事業

(1) 事業名

バイオリソース特性情報整備支援プロジェクト

(2) 趣旨

バイオリソースとは、バイオ（Bio）は「生物」、リソース（Resource）は「資源」を意味し、日本語では「生物遺伝資源」と呼ばれ、研究開発のために必要な動物・植物・微生物などの研究材料です。

バイオリソース研究センター（BRC）では、バイオリソースに関する世界最大級の研究基盤として、生命科学分野で使用される主要な5種類のバイオリソース（実験動物マウス、実験植物、iPS細胞等のヒト及び動物由来細胞株、培養微生物株、これら由来の遺伝子材料）と付随する情報について、社会的ニーズ・研究ニーズを的確に捉えながら収集・保存し、必要とする国内外の研究者に提供しています。

これまでの実績として、年間約1.5万件のバイオリソースを国内外の研究機関の研究者に提供しており、設立以来の累計では約31万件を提供しています。更に、バイオリソースを利活用する上で有用なゲノム情報や表現型情報等の特性情報をデータベースとして整備しています。

特に近年のライフサイエンス研究では、DNAシーケンシングや画像イメージング等の計測技術の進歩により大容量でかつ高解像な特性情報を取得できるようになったことで、1つの研究テーマで様々なデータを組み合わせて研究をすることが多くなりました。そのため、バイオリソースのみならず、その特性情報も揃っていることが非常に重要になりました。

本事業では、そのような社会的ニーズ・研究ニーズに応える、特性情報も揃った、より付加価値の付いたバイオリソースを提供するために、更に加速して特性情報の解析を実施することで、ライフサイエンス研究に貢献します。

(3) 事業内容

① 代表者

国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター
センター長 城石 俊彦

② 内容

本事業では、そのような社会的ニーズ・研究ニーズに応える、特性情報も揃った、より付加価値の付いたバイオリソースを提供するために、更に加速して特性情報の解析を実施することで、ライフサイエンス研究に貢献します。

- ・日本マウスクリニック事業
- ・シロイヌナズナ野生株の全ゲノム解析
- ・疾患 iPS 細胞の全ゲノム解析
- ・正確な DNA 配列解析による遺伝子材料の検証
- ・微生物のゲノム解析・質量分析・培養時の画像取得

3. 募集額

1,352 百万円

4. 募集期間

2024 年 7 月 1 日 ～ 2034 年 3 月 31 日

5. 支出計画（目安）

・日本マウスクリニック事業	375 百万円
・シロイヌナズナ野生株の全ゲノム解析	95 百万円
・疾患 iPS 細胞の全ゲノム解析	180 百万円
・正確な DNA 配列解析による遺伝子材料の検証	300 百万円
・微生物のゲノム解析・質量分析・培養時の画像取得	284 百万円
・一般管理費（募集額の 10%）	122 百万円

6. 募集の方法及び手続き

- ・理研ホームページ 寄附金のページ（URL：<https://www.riken.jp/support/#solicited>）に掲載
- ・バイオリソース研究センターのホームページ（URL：<https://web.brc.riken.jp/ja/>）に掲載

7. その他

理研へ寄附金をすると、国税（所得税もしくは法人税、相続税）及び一部自治体の地方税（個人住民税）について、税法上の優遇措置を受けることができます。詳しくは理研ホームページ 寄附者特典のページ（URL：<https://www.riken.jp/support/benefits/#tax>）をご確認ください。

8. 募集計画書の問い合わせ先

国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター

Email：[tsukuba-kikaku\[at\]riken.jp](mailto:tsukuba-kikaku[at]riken.jp)（※[at]は@に置き換えてください。）

住所：〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

以上